DESIGNATION

VOL. 16

18+

FOR ADULTS ONLY

わい、バニーの空母といちゃいちゃしたいんや。

あの…私も、…ですか？
少し恥ずかしいのですが…

まずは蒼龍にバニーの恰好をさせてみる。バニースーツが小さいのか、それとも中身がでかいのか、いろんな所がこぼれそうで実にいやらしい。ダイエット中とのことだが、個人的にはずっとそのままでいて欲しい。

今度はバニー…ですか

これはちょっと大胆すぎませんか…

あっ

ダイエット中だから…あんまり近くで見ちゃダメです！

ゆさっ

むちっ♥

むちっ♥

とまぁそんなこんなで勃起したペニスを見せつけると、意外と興味津々の蒼龍。ためらいもなく取り出して感触を確かめるように頬ずりをする。前髪が亀頭にさわさわしてとてもくすぐったい。

ほ～～～

すご…
重力に逆らってる…

すごく固いのに

あったかくて
ぷにぷにしてて…

かわいい…♥

おっぱいの中で
ピクピクしてますよ？

こんなおっきいの…

挿入れられたりしたら
死んじゃうかも…♥

ﾌﾌ～ん♥

わっしゃ

わっしゃ

巨乳の空母にとって、パイズリは必修科目。さすが蒼龍、乳間で提督の巨根を根元から先端までやすやすと飲み込んでしまう。

ずいぶん生意気な口を利くじゃあないの。それでは早速死んでもらおうか。

あッ

そんな…いきなり挿入れ…

ずぶぶぶぶ…

にゅぷぷ…

ぬちゅちゅ…

あ…

ダメ…

どんどんイって…

ダメッ

尻を拡げて肉をかきわけ、奥へ奥へと進んでゆく。

あッ

ペニスが膣の底まで達すると同時に、蒼龍も絶頂に達してしまった。

既に虫の息となった蒼龍を仰向けに寝かせ、執拗に責め立てる。膣壁の一番敏感な所をいきり勃ったペニスでゴリゴリと擦ってやると、蒼龍は嗚咽のような喘ぎ声を上げ、二度目の絶頂を迎えた。

脚を高く持ち上げ腰を浮かせ、子宮の奥まで精液を流し込む。既に力尽きてだらんとなった蒼龍の脚はとても重いが、確実に受精させる為に頑張らねば…

お次は飛龍。露出度が高い衣装なのに蒼龍と違って堂々としたものである。ほどよい筋肉とほどよい脂肪で均整のとれた尻が美しい。そこから伸びる両脚のシルエットも至高である。

速攻でパンツを下ろし提督自身に挨拶をする飛龍。
親しげな態度の中にもキラリと光る礼儀正しさ。

ボロンチョ！

はいこんにちは♥

…って、ちょっと大きくなった？

ほれほれ♥

膝裏コキだよ～～♥

わっ

わっかたく

おもむろにご自慢の脚で提督のペニスを弄び始める。

うりゃうりゃ

ほりゃほりゃ

きもちい？

ふたっ

ふたっ

ぷにゃっ

ぷにゃっ

ぎゅう～～

いつでもイっていいですからね～

巧みなテクニックで提督をイかせようとする飛龍。いかん、こんな所で果てるわけには…

ペニスの感触を確かめるように、ゆっくりと挿入する。

おっき・・

これ・・ダメかも・・・

あ…

ぬぷぷぷ…

もう我慢の限界…なのは飛龍の方だったようで、おもむろに提督に跨り、おねだりし始める飛龍。

あの、あのですね・・

挿入れていいよね？

ね？

ね？

くねくね

スローなピストンで膣壁がペニスにねっとりと纏わりつく。
ずいぶん余裕そうな表情じゃないの…負けてられんな。

あッ

やば・・これ・・・

あッ

あン

あッ

ほんとに・・・

ダメになっちゃうかも・・・

あッ

ぬっこ

ぬっこ

これはわからせてやらんといかんですね…というわけで攻守交替。正常位でこれでもかと腰を打ち付けると、飛龍の表情がとたんに変わる。良い声で鳴くじゃあないか。

最後は種付けプレスでしっかり種付け。情けない表情とは裏腹に、飛龍の膣は提督のペニスをギュウギュウ締め上げ、最後の一滴まで精液を搾り尽くさん勢い。良い子を孕めよ。

最後は鳳翔さん。スラリと伸びた脚に白タイツが良く似合う。慣れない恰好で少し恥ずかしそうだ。
いやいや、よくお似合いですよ、鳳翔さん。

て、提督…

着替えましたが…

この衣装、露出が多くて…
その、少し、…寒いです…

もじ

もじ

そしてボロンタイム。恥ずかしそうにしてた割には反り返ったペニスを目にするとスイッチが入ったようでとても嬉しそうだ。

ぴょん♪

それでは失礼しますね

わぁ～～♥

とっても逞しいです♥

大事そうに両手でペニスを抱え、小さな口いっぱいに頬張る鳳翔さん。健気に提督の表情をうかがう仕草もかわいい。

ろうれふか？

もごもご

ひもひいいれふか？

お口に・・・入りきらないれふ・・・

きゃん

きゃん

フェラチオをしているうちに身体のスイッチも入ったようだ。

準備万端であればいざゆかん。と、鳳翔さんに覆いかぶさろうとすると、おもむろに首の後ろに手を回し抱きつかれてしまった。そのまま長いキス。こういうシチュエーションは求められてる感があって男冥利につきる。

亀頭が侵入しただけで既にイきそうになってる鳳翔さん。そんなに焦らないでゆっくり味わってください。

綺麗な脚がよく見えるように立ちバックでじっくりと挿入を楽しむ。すぐにイってしまわないようにスローなピストンでねっとりと責めると、鳳翔さんはたまらずせつない声を漏らした。

フィニッシュは尻を掴んで膣内射精。身をよじって快感に震える鳳翔さん。うっすらと浮き出る背骨の線が美しい。

度重なるイベントの中止により約1年ぶりの新刊と
なりました。
お待たせして誠に申し訳ありません。

ここから先は幻のC98で出す予定だった赤城と加賀の
晴着デートの原稿になります。

もうしばらくお付き合いください。

今日は赤城さんと晴着でおデート。結った髪がキュートで愛らしい。綺麗だけどちょっと脱がせるのが大変そうだな…

デート中の買い食いは欠かさない赤城さん。美味しそうに食べるのでついつい見てしまうのだが、提督の視線に気付いた赤城さん、少々ご立腹の様子。

デートもそこそこに早速ご休憩。食い気の後は色気なのだ。どうやって脱がせようか迷ってたら自分で脱いでくれました。

昼間から肌襦袢姿というのはなんともいやらしい。身八つ口からちらと見える横乳に視線は釘付け。

赤城さんの肌襦袢姿に辛抱たまらず乳に手を出してしまった。手の平に吸い付く柔らかさ、ずっしりとした重量感、これぞ一航戦の乳よ。

あっ・・・
ちょっと待ってください

まだ脱いでる途中ですから・・・

もう・・・

ダメ・・ですよ・・？

あっ

あ

あ

後ろから前から、ひたすら乳を揉む。揉んでも揉んでも飽き足らぬ。揉んだ先にいったい何があるというのか。

じっくり乳の感触を楽しんだ後は、濃厚なキス。提督が舌を挿し入れると、それに応じるように赤城さんは舌を絡ませてくる。二人の唾液が口の中で混ざり、溶け合い、徐々に境界を失ってゆく。赤城さんの唾液は不思議と甘い香りがして、時間を忘れてキスに没頭してしまった。

ちゅ…

ちゅ

ちゅぱ

ちゅ

すご…

おっき…

とろぉん…

くひに
はいりひらない…

キスの最中に勃起してしまったことに気付いた赤城さん、すかさずフェラチオを始める。赤城さんは気の利くイイ女。

そしてパイズリ。柔らかな乳房がガチガチになったペニスを優しく飲み込む。この贅沢な瞬間がたまらない。

提督、赤城の胸、いかがですか？

いつでも・・イって良いですから・・・

きゅうううう・・・

ぱくっ

ぱっ

ぱっ

ぱ

気を取り直していざ挿入。ペニスが自分の膣に入ってゆくのを確認するように、臆面もなく結合部を見つめる赤城さん。
そんなことをされると逆にこっちの方が照れてしまう。

入ってきてる…
わっ
すご…
あ
あ
あ
ぬぷぷぷ…
ズッ
ズッ
ズッ

そのまま二発目の射精をしてしまった。射精と同時に赤城さんの身体も激しく痙攣し、弓なりになって快感に打ち震えた。

ペニスを引き抜くと、自分でも驚くほどの大量な精液が音をたてて流れ出た。
ふと赤城さんの顔を見ると、まだまだ物足りなさそう。すまねぇ、ちょっと休憩したら、ね。

今度は加賀さんと晴着デート。待ち合わせ場所にずいぶん早く着いたはずなのに、例によって既に加賀さんが...

あら、提督・・・

待ってません

今来たところです

そんなに・・・

見ないで頂けますか

デートもそこそこに言葉少なに誘ってくる加賀さん。背格好は似ていても赤城さんと違って色気に全振りの一航戦。

提督・・・よろしければ
どこか静かなところへ・・・

自分から誘ってくるだけあって、脱ぎっぷりの良い加賀さん。ホテルの部屋に入るや否や早速着物を脱ぎ始める。

何見てるんですか

提督も早く脱いでください

そんなにご覧になりたいなら・・・

かまいませんが・・・

むちっ♡

着物姿も良いが、肌襦袢の裾からすらりと伸びる太ももがなんとも美しい。このままずっと眺めていたいのだが...

脇を見せた隙にとりあえず豊満な乳を弄ぶ。揉みしだいているうちに何やら白い液体が…

あっ

だっ…ダメです…

今、揉まれると…

ダッダッ

ぱい…

吸っちゃダメです！

むちゃる♥ちゃる～～♥

ぱい…

また出ちゃいま…

にゅ～

これはむしゃぶりつくしかありませんな。うーむ、甘露甘露。吸えば吸うほど母乳が溢れ出す。

そうか吸っちゃダメか～。ならば両乳同時に頂きましょう。これぞ男の夢、両乳首同時吸い。残さず全て頂きます。

ちゅっぱ ちゅっぱ

やッ

あッ

あッ

あン

やだ…

あン

あン

プルプル

もう我慢の限界です

挿入れます

Vおぉ～

乳への愛撫で完全に出来上がった加賀さん、提督を押し倒していきなりまたがろうとしてしまう。なんと積極的な…

加賀さんがその気なら...と尻を掴んでペニスを一気にぶち込むと、積極的な割に加賀さんは情けない声で鳴いた。

身体を入れ替えバックで肉体を弄ぶ。膣の感触と乳の感触を同時に味わうなんとも贅沢な体勢である。

膣圧に負けそうになった為一旦ペニスを抜き体勢を変えようとすると、敵もさるものすかさず喰らいつく。

提督たるものSEXで艦娘に負けるわけにはいかん。フェラチオから脱出し再び騎乗位でハメる。加賀さん、激しすぎ…

あまりの締め付けに不覚にも撃沈。同時に加賀さんも絶頂を迎えたようで、今回は相討ちといったところか。

ペニスを引き抜くとだらしなく開いた膣口から大量の精液が流れ出た。お互い満足出来たのだから良しとしよう。

奥　付

誌　　名：WASANBON vol.16
サークル：わさんぼん
著　　者：wa
発 行 月：2021年2月
印　　刷：㈱グラフィック様

twitter　：@washizutan2
pixiv id　：genryusui

本書は18歳未満の閲覧および
画像の無断使用・無断転載を固く禁じる。

MEGAMI

VOL. 15

FOR ADULTS ONLY

18+